

公益社団法人日本包装技術協会

事業の一覧

事業区分		事業の内容
公益目的事業	公益1	<講座、セミナー、育成事業> 包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業 主な具体例：包装専士講座、包装管理士講座、セミナー、コース、研究会、フォーラム、Webフォーラム、研究大会、懇話会 ＊支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う
		<体験活動等事業> 包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業 主な具体例：海外視察団、見学会
		<表彰、コンクール事業> 包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される 主な具体例：パッケージングコンテスト、木下賞
	公益2	<展示会、ショー事業> 包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業 主な具体例：東京国際包装展、暮らしの包装商品展
	公益3	<調査、資料収集事業> 委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となっており一般に公表される 主な具体例：ISOに関する活動、JISに関する活動、統計調査
収益事業	収益1	<出版事業> 毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行 主な具体例：機関誌「包装技術」、包装技術便覧、包装用語辞典

＊その他行事：総会、新年会、会員交流会等

第1号議案

公益社団法人日本包装技術協会
2023年度事業報告

本 部

2023年4月1日～2024年3月31日

当会の事業は、概ね年度活動方針および事業計画に沿って実施された。協会事業の柱となっている包装人材育成事業（包装管理士講座、包装専士講座、等）や情報提供事業は当初の計画通り成果をあげることができた。

包装管理士講座は、今期（第58期）、417名の受講生を得て対面とオンラインで開講し、再受講合格者を含め401名が合格し、包装管理士の称号が授与された。これにより、第1回の開催以来58年間で包装管理士の有資格者は15,956名となった。

情報提供事業の柱である JPI WEB フォーラム（オンライン開催）は、本年度も年間計画に沿って情報と交流の機会を会員に提供した。

包装専士講座は、輸送包装、食品包装、包装材料及び医薬品包装の4コースを6月より開講し、3月までの期間で開催し、39名の包装専士が誕生した。これまでの包装専士有資格者は、1,509名となった。

本年度は、隔年で開催している暮らしの包装商品展を、10月26日・27日の2日間、東京丸の内・KITTE を会場に開催した。包装が果たす役割や重要性について理解を深めていただくことを目的とする消費者向けの普及啓発事業で、全15社・団体による出展のもと、6,500名を超える方にご来場いただき、盛況のうちに終了した。

また、本年度は TOKYO PACK 2024 の準備年にあたる。6月に実行委員会を発足し、9月25日より公式ホームページにて出展社の募集受付を開始した。

第1 事 業

1. 研修、育成事業、交流事業、普及啓発事業（公益目的事業1）

<研修、育成事業>

研修、育成事業はオンライン開催が主軸ではあるものの、必要な感染症予防対策を講じながら状況や場面を十分に考慮した上で対面での開催も実施した。

包装人材育成事業の柱である包装管理士講座は、400名以上の受講者を得て対面とオンラインで開講し、今期（第58期）は401名が合格し包装管理士の称号が授与された。これにより第1回の開講以来58年間で包装管理士の有資格者は15,956名となった。

本年度包装専士講座は、例年通り全4コースで開講した。参加者の健康および安全を確保しつつ従来の教育の質を保つため対面による講義を行った。本年度は39名が合格し、包装専士の称号が授与された。これにより包装専士の有資格者は1,509名となった。

情報提供事業の柱である JPI WEB フォーラムは、本支部協力のもと定期的に情報と交流の機会を会員に提供し、年度活動方針および事業計画に沿って実施した。

1) 第58期包装管理士講座

期間：5月31日（水）開講～9月13日（水）終講

会場：集合研修、合宿研修 ロワジールホテル豊橋 一般講義 オンライン

合格者：受講者417名（合格者401名）※昨年度継続受講者含む

合格者内訳：東京募集 221名 大阪募集 83名 名古屋募集 50名

福岡募集 27名 仙台募集 12名 札幌募集 8名

〈 輸送包装コース153名・生活者包装コース248名 〉

以上の結果、58期を通して包装管理士有資格者は、15,956名となった。

2) 2023年度包装専士講座

2023年2月1日（水）～4月28日（金）で受講生の募集をし、2023年6月8日（木）～2024年3月5日（火）の期間にて、例年通り4コース（輸送包装、食品包装、包装材料、医薬品包装）で開講した。カリキュラムはほぼ月1回開講する一般講義のほか、実地研修、事例研究、包装専士論文の発表で構成されている。本講座で培われる講師と受験生、受験生同士の“情報ネットワーク”は、本講座を終了した者だけが得られる財産と考え、リモート講座ではなく、対面講座を行っている。

2023年度の受講者40名のコース別内訳は次のとおりである。

輸送包装コース・・・ 8名 食品包装コース・・・11名

包装材料コース・・・12名 医薬品包装コース・・・9名 最終合格者 39名

会場：合宿研修 湘南国際村センター 一般講義 JPI 会議室、各実地研修会場

3) 全日本包装技術研究大会

包装に関する工夫の実例や研究開発の成果を広く発表すると共に、同業・異種業界の関係者との相互の交流を深めることを目的に開催した。

催事名：第61回全日本包装技術研究大会（奈良大会）

部 会：5部会（輸送包装、食品包装、生活者包装、医薬品包装、環境包装）

会 期：12月7日（木）～8日（金）

場 所：奈良県コンベンションセンター

参加数：372名

＜特別講演＞

「伝統産業の発展と呉竹」

株式会社 呉竹 代表取締役社長 山際 義敬 氏

＜部会発表＞ 67件

4) 研究会、講習会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) JPI WEB フォーラム

2021年度より対面講習会として開催していた「研究会」から、オンラインによる「JPI WEB フォーラム」として運営している。これは JPI WEB フォーラムの参加者へアンケート調査を実施した結果、対面よりも「ウェビナー」の需要が高かったことによるものである。今後も「JPI WEB フォーラム」として、ウェビナーを運営していく予定である。

①4月 JPI WEB フォーラム

- 4月19日（水） JPI 本部主催 参加者 259 名
 テーマ：包装に関わる標準化の動向と改定 JIS Z0200 のポイント
 講師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所
 輸送包装研究室 室長 金子 武弘
- 4月20日（木） JPI 本部主催 参加者 81 名
 テーマ：製造 DX セミナー PLC 情報活用による生産性向上～データの活用ポイント～
 講師：株式会社村田製作所 通信・センサ事業本部 IOT 事業推進部 高瀬 尚純 氏
- 4月26日（水） JPI 本部主催 参加者 151 名
 テーマ：粘着ラベル素材の環境配慮
 ～リンテックの脱プラ・減プラ・資源循環への取り組み～
 講師：リンテック株式会社 技術・開発室 大阪マーケティンググループ
 課長代理 田中 敦裕 氏

②5月 JPI WEB フォーラム

- 5月29日（月） JPI 本部主催 参加者 275 名
 テーマ：環境負荷算出ツールを用いた環境包材の評価とその活用
 講師：水性フレキシソ促進協議会 川端 伸彦 氏
- 5月30日（火） JPI 本部主催 参加者 191 名
 テーマ：植物由来ポリエチレン樹脂「サンテックフォームV45」について
 講師：旭化成株式会社 フォーム技術開発部 部長 家田 真次 氏

③6月 JPI WEB フォーラム

- 6月23日（金） JPI 本部主催 参加者 91 名
 テーマ：ファナックロボットの最新技術について
 講師：ファナック株式会社 ロボット事業本部
 ロボット機構研究開発本部 技師長 森岡 昌宏 氏
- 6月26日（月） JPI 本部主催 参加者 212 名
 テーマ：包装技術によるフードロス削減
 講師：東京食品機械株式会社 相談役 秦 哲志 氏

④7月 JPI WEB フォーラム

- 7月18日（火） JPI 本部主催 参加者 202 名
 テーマ：棒積みパレット積載とストレッチフィルムパレット梱包による箱材質の削減と
 保管時トラブルの防止について
 講師：キューピー株式会社 技術ソリューション研究所
 シニアコーポレートサイエンティスト 高山 崇 氏
- 7月19日（水） JPI 本部主催 参加者 81 名
 テーマ：資材・原料の供給工程の自動化、人手作業から解放
 講師：株式会社エヌテック 東京支店 次長 山田 輝俊 氏

7月26日（水） JPI 関西支部主催 参加者 213 名
 テーマ：関西在住のZ世代に聞きました！“あなたが支持する包装容器とは”
 ～インスタント食品&缶・PETボトル入り飲料編～
 講師：日報ビジネス株式会社 包装編集部係長 吉野 加代子 氏
 日報ビジネス株式会社 包装編集部係長 福本 周子 氏

⑤8月 JPI WEB フォーラム

8月23日（水） JPI 関西支部主催 参加者 267 名
 テーマ：海外リサイクル規制状況についての報告
 環境対応バリア包装材事例と食品保存試験についての報告
 講師：株式会社クラレ エバール事業部 エバール研究開発部 主管 山本 喜雄 氏
 株式会社クラレ エバール事業部 エバール研究開発部 石内 聡史 氏
 8月24日（木） JPI 本部主催 参加者 289 名
 テーマ：食品容器包装に関する国内外の法規制動向
 講師：西包装専士事務所 代表 西 秀樹 氏
 8月29日（火） JPI 本部主催 参加者 239 名
 テーマ：インターパック 2023 包装視察団報告
 講師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所
 輸送包装研究室 室長 金子 武弘

⑥9月 JPI WEB フォーラム

9月28日（木） JPI 本部主催 参加者 209 名
 テーマ：『2024年問題』を乗り越え未来を勝ち抜く具体策
 ～梱包・包装技術が物流の荷役・輸配送の効率化のカギを握る！～
 講師：ロジクエスト株式会社 代表取締役 清水 一成 氏
 9月29日（金） JPI 関西支部主催 参加者 98 名
 テーマ：共同輸送マッチングサービス「TranOpt(トランオプト)」による輸送効率化
 講師：日本パレットレンタル株式会社 デジタルロジスティクス推進部
 輸送マッチング推進グループ 渡邊 安彦 氏

⑦10月 JPI WEB フォーラム

10月4日（水） JPI 中部支部主催 参加者 170 名
 テーマ：「容器包装 2030」持続可能な容器包装の実現
 講師：アサヒ飲料株式会社 技術研究所 所長 張 義宏 氏
 10月19日（木） JPI 中部支部主催 参加者 89 名
 テーマ：輸送中の荷台振動の加速度 PSD を簡易に取得する方法の提案
 講師：地方独立行政法人大阪産業技術研究所 製品信頼性研究部 研究員
 堀口 翔伍 氏

- 10月24日(火) JPI 中部支部主催 参加者 189 名
 テーマ：環境を意識した包装設計への取り組み事例
 講師：カネパッケージ株式会社 設計部・課長 中村 圭介 氏
- 10月26日(木) JPI 関西支部主催 参加者 126 名
 テーマ：ステルスインクを使用したトレーサビリティについて
 講師：紀州技研工業株式会社 営業本部長 塩崎 智之 氏

⑧11月 JPI WEB フォーラム

- 11月17日(金) JPI 西日本支部主催 参加者 246 名
 テーマ：カーボンフットプリント算定に関するセミナー
 講師：三井物産株式会社 機能材料事業部 工業材料事業室 室長補佐 荒川 朋也 氏
- 11月22日(水) JPI 東北支部主催 参加者 104 名
 テーマ：パッケージにおけるブランド色を正確に再現するには？
 講師：エックスライト社 セールス&マーケティング部 担当部長 川守田 孝治 氏
- 11月28日(火) JPI 関西支部主催 参加者 140 名
 テーマ：サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組み ～技術手法からアプローチ～
 講師：日本山村硝子株式会社 環境室・副参事 山本 柱 氏

⑨12月 JPI WEB フォーラム

- 12月12日(火) JPI 本部主催 参加者 250 名
 テーマ：FSC 認証制度と包装資材
 講師：特定非営利活動法人日本森林管理協議会
 指針・規格マネージャー 三柴 ちさと 氏
- 12月13日(水) JPI 本部主催 参加者 256 名
 テーマ①：食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度について
 講師：厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課 課長補佐 今西 保 氏
 テーマ②：食品衛生法のポジティブリスト制度と食品接触材料安全センターの活動について
 講師：一般財団法人化学研究評価機構 食品接触材料安全センター
 企画調整室長 梶原 健世 氏
- 12月15日(金) JPI 関西支部主催 参加者 321 名
 テーマ：「パッケージを取り巻く世界動向：メカニカルリサイクルとケミカルリサイクル、
 欧米の新たな規制法案」
 講師：株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 森 泰正 氏

⑩1月 JPI WEB フォーラム

- 1月30日(火) JPI 関西支部主催 参加者 169 名
 テーマ：「パナソニック乾電池パッケージの取組み～エシカルパッケージの導入～」
 講師：パナソニック エナジー株式会社 エナジーデバイス事業部 コンシューマーエナジー
 ビジネスユニット商品技術部意匠・包装設計課課長 加藤 豊堂 氏
 ビジネスユニット商品技術部意匠・包装設計課 中田 早百合 氏

⑪2月 JPI WEB フォーラム

- 2月22日(木) JPI 西日本支部・東北支部共催 参加者 200名
 テーマ:『2023 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会』
 発表①:「吸湿くん EX」
 丸東産業株式会社 営業企画推進部 木下 聡史 氏
 発表②:「糊貼りしないパッケージ」
 富山スガキ株式会社 企画制作部 設計開発課 赤井 智昭 氏
 発表③:「かみプチ」
 川上産業株式会社 東京営業所 伊澤 洋一 氏
 商品開発部 油井 雅光 氏
 発表④:「らくらく施工アシスト付包装」
 TOTO株式会社 衛陶設計部衛陶生産設計第二グループ 山下 龍太郎 氏
 発表⑤:「使用済みコピー用紙からつくった! 高性能緩衝材」
 セイコーエプソン株式会社 P 商業・産業企画設計部 大田 司 氏
 発表⑥:「衝撃吸収機能を備えた人工大理石カウンター包装」
 TOTO株式会社 トイレ空間商品開発部 トイレ空間包装印刷物グループ 宮下 貴行 氏
 2月26日(月) JPI 本部主催 参加者 240名
 テーマ:「パルプモールドの最新事情」
 講師:株式会社名古屋モールド 営業部 部長 杵山 貴啓 氏

⑫3月 JPI WEB フォーラム

- 3月21日(木) JPI 本部主催 参加者 298名
 テーマ:「ポリエチレン樹脂」
 講師:日本ポリエチレン株式会社 研究開発部 副部長 池野 元 氏
 3月29日(金) JPI 中部支部主催 参加者 155名
 テーマ:「包装の立場から考える『我々はなぜ脱炭素をやらなければならないのか』」
 講師:フタムラ化学株式会社 中部統括開発グループリーダー 花市 岳 氏

(2) 県別研究会

JPI WEB フォーラムに組み入れて開催

(3) 包装情報ステーション

- 8月22日(火) オンライン配信 JPI 本部主催 参加者 161名
 テーマ:人間特性データベースと最近の取り組み事例
 講師:一般社団法人人間生活工学研究センター 事務局長 畠中 順子 氏
 9月26日(火) オンライン配信 JPI 本部主催 参加者 303名
 テーマ:プラスチック汚染に関する国際条約の策定に向けた欧州、米国と国連の動き
 講師:一般財団法人化学研究評価機構 食品接触材料安全センター
 情報調査・広報室長 石動 正和 氏

(4) コース

①第 29 回包装新人研修コース

4月6日(木)・7日(金) JPI 会議室(対面)

参加者 37 名

②第 56 回包装基礎コース

5月17日(水)・18日(木)・24日(水)・25日(木) JPI 会議室(対面) 参加者 50 名

③第 1 回循環型包装コース オンライン配信

9月20日(水)

参加者 191 名

講師:住本技術士事務所 所長

住本 充弘 氏

④第 14 回食品包装コース オンライン配信

2月7日(水)・14日(水)・15日(木)・20日(火)

参加者 34 名

講師:加藤包装技術事務所

加藤 武男 氏

トッパン・ヒューマン・インフォメーション・サービス株式会社

坂巻 千尋 氏

⑤第 40 回フレキシブルパッケージコース

2月27日(火) JPI 会議室(対面)

参加者 41 名

講師:下山田包装技術事務所 所長

下山田 正博 氏

⑥第 16 回緩衝包装設計コース (2023 年度)

本部業務再編により、関西支部で実施する緩衝設計実践コースに本年度は一本化した。

⑦第 46 回段ボール包装設計コース (2023 年度)

グループ実習を主旨とするため、コロナウイルス感染拡大防止を深慮し今期中止とした。

(5) 2023 パッケージングフォーラム

8月30日(水) 東京ガーデンパレス 平安の間

参加者 75 名

テーマ①:『乾電池エボルタ・エボルタネオシリーズ エシカルパッケージ』

講師:パナソニック エナジー株式会社 エナジーデバイス事業部

コンシューマーエナジービジネスユニット 商品技術部部長 加藤 丞 氏

テーマ②:『世界初! リサイクルアルミ 100%缶』

講師:サントリーホールディングス株式会社 包材部

荻野 大介 氏

テーマ③:『物流業務の効率化 パレットを拡張する段ボール資材』

ー段ボール製エキスパンダー〜規格パレット拡張術〜

講師:レンゴー株式会社 パッケージング部門開発本部 包装技術第二部

中部包装技術課 担当課長 鈴木 友和 氏

(6) セミナー・シンポジウム

①「第 32 回化粧品包装セミナー」

ー化粧品パッケージデザインの開発プロセスと最新動向ー

10月6日(金) オンライン配信

参加者 49 名

テーマ①:『パッケージデザインで陥りがちな 3 つの罠』

ー失敗しないパッケージデザインのプロセスー

講師:株式会社アイディーネット 取締役 デザインディレクター 福本 佐登美 氏

テーマ②：『JILL STUART 最高の“かわいい”をつくる化粧品パッケージの秘密』

講師：株式会社コーセー 商品デザイン部 デザイン室

クリエイティブディレクター 益田 あけみ 氏

テーマ③：『ポーラのパッケージデザイン』

講師：株式会社ポーラ ブランドデザイン部 アートディレクター 渡辺 有史 氏

テーマ④：『日本パッケージデザイン大賞 2023 の傾向と大賞「BAUM」における体験とサステナブルデザイン』

講師：資生堂クリエイティブ株式会社 クリエイティブディレクター

信藤 洋二 氏

②「第 33 回化粧品包装セミナー」

2024 年度に開催予定

③「第 19 回包装材料セミナー」

ープラスチックリサイクルの取り組みと技術動向ー

1 月 26 日（金） オンライン配信 参加者 42 名

テーマ①：仙台市における製品プラスチック一括回収・リサイクルの取組みについて

講師：仙台市 環境局次長兼廃棄物事業部長 沼田 和之 氏

テーマ②：PET リサイクル市場の現状と今後の見通し

講師：遠東石塚グリーンペット株式会社 営業本部・本部長 顔 宏任 氏

テーマ③：プラスチックの資源循環に向けたケミカルリサイクル技術

講師：荏原環境プラント株式会社 営業本部 ソリューション開発部 佐藤 郁磨 氏

テーマ④：使用済み日用品（製品/容器）のリサイクル社会への道程

講師：ライオン株式会社 サステナビリティ推進部 中川 敦仁 氏

④「2023 年度医薬品包装セミナー」

ーリサイクル・資源循環/環境対応の具体的事例から医薬品包装の取組みについてー

3 月 8 日（金） オンライン配信 参加者 47 名

テーマ①：サステナブル医薬品包装推進コンソーシアム

（4 社コンソーシアム）設立の経緯とその活動概要について

講師：第一三共株式会社 テクノロジー統括本部 製薬技術本部 製剤技術研究所

包装・製剤エンジニアリング研究グループ 釜田 信 氏

テーマ②：オリックス環境の PTP シートリサイクル及び今後の展開について

講師：オリックス環境株式会社 営業第一部長 滝本 智明 氏

テーマ③：PTPAL 箔製品の環境対応に対するメタルカラーの取組みについて

講師：株式会社メタルカラー 取締役 高石 和樹 氏

テーマ④：使用済医薬品ボトルの回収・再資源化実証事業について

講師：福岡県 環境部 循環型社会推進課 事業化推進係長 執行 薫 氏

テーマ⑤：使用済医薬品ボトルの回収・再資源化に関する資源循環モデル実証事業
～薬局におけるSDGsへの取り組み～

講師：株式会社DTファーマシードレミ薬局
公益社団法人福岡県薬剤師会・常務理事

田城 涼子 氏

⑤「第11回包装近未来シンポジウム」

待ったなし、包装の大変革～世界の包装規制に日本はどのように対応するか～

3月13日（水） オンライン配信

参加者 83 名

テーマ①：「欧州における包装材料規制と日本に与える影響」

講師：一般財団法人化学研究評価機構 食品接触材料安全センター

情報調査・広報室長 石動 正和 氏

テーマ②：「サプライチェーンを巻き込む情報開示の義務化の世界動向について」

～サプライヤーとしての対応も含めて～

講師：NPO 法人サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 敏彦 氏

テーマ③：「プラスチック容器の資源循環を目指して」～花王の取り組みと課題～

講師：花王株式会社 包装技術研究所 第一研究室長

鈴木 文人 氏

テーマ④：パネルディスカッション（講師と企画委員）

「世界の包装規制に日本はどのように対応するか」

（7）特別講演会

Lifetime Achievement in Packaging Award 2023 受賞記念

「interpack 2023 視察報告を交えたグローバル包装動向について」

～包装界の未来に対する提言と今後への期待～

参加者 115 名

講師：有田技術士事務所 所長

有田 俊雄 氏

日時：7月6日（木）16:00～18:30（講演 16:00～17:30、懇親会 17:45～18:30）

会場：如水会館「2階 スターホール」

5）包装懇話会（年間登録メンバー制）

東京本部 いずれも JPI 会議室での対面及びオンライン併用による開催

（1）食品・流通包装懇話会 登録 63 名

7月6日（木）参加者 43 名 9月27日（水）参加者 39 名

12月6日（水）参加者 33 名 2月6日（火）参加者 17 名

【見学会】

（2）医薬品包装懇話会 登録 116 名

6月2日（金）参加者 89 名 9月29日（金）参加者 87 名

11月27日（月）参加者 87 名 2月16日（水）参加者 97 名

（3）パッケージデザイン懇話会 登録 37 名

5月26日（金）参加者 34 名 8月25日（金）参加者 36 名

11月28日（火）参加者 36 名 2月28日（水）参加者 45 名

(4) 輸送包装懇話会

登録 52 名

6 月 30 日 (金) 参加者 49 名 9 月 22 日 (金) 参加者 32 名

11 月 16 日 (木) 参加者 48 名 3 月 15 日 (金) 参加者 14 名

【見学会】

<交流事業>

国内事業においては、半日の工場見学を企画していたが中止した。海外事業においては、アジア包装連盟 (APF) および世界包装機構 (WPO) との連携行事の対面開催が 3 年ぶりに再開した。

海外渡航の制限緩和を受け、包装専門視察団の欧州派遣や海外からの来日包装関係者との面談交流を行ったほか、今後の交流活動拡大に向けて準備を始めている。

1) 国内事業

(1) 月例見学会

本年度に関しては、工場受け入れ先も新型コロナウイルスの影響により、見学者の受け入れにまだ慎重な企業が多く、見学会開催を中止した。

2) 海外事業

(1) 世界包装機構 (WPO) との連携

①前期 WPO 理事会および一連の関連行事

5 月 5 日 (金) ~ 5 月 7 日 (日) の日程で、ドイツ・デュッセルドルフにて開催され、日本代表として出席した。(催事日程は開催国現地時間で表記)

- ・ 5 月 5 日 (金) 9:00 幹部会議
- ・ 5 月 6 日 (土) 9:00 ワーキンググループ・ワールドスター表彰式
- ・ 5 月 7 日 (日) 9:00 理事会

②後期 WPO 理事会および一連の関連行事

11 月 20 日 (月) ~ 11 月 24 日 (金) の日程で南アフリカ・ケープタウンにて以下の通り開催され日本代表として出席した。(催事日程は開催国現地時間で表記)

- ・ 11 月 20 日 (月) 9:00 プレスコンフェレンス
- ・ 11 月 21 日 (火) 9:00 幹部会議
- ・ 11 月 22 日 (水) 14:00 ワーキンググループ
- ・ 11 月 23 日 (木) 9:00 理事会
- ・ 11 月 24 日 (金) 9:00 各国代表との交流会

③WPO 主催包装コンテスト (ワールドスター賞) の審査: オンラインにて実施 (12 月)

- ・ World Star Awards 2024 全エントリー数: 41 カ国 435 点 / 受賞数 1 位: 日本 28 点
(2 位: ドイツ 21 点 3 位: オーストラリアニュージーランド: 16 点)

また WPO のオンライン幹部会議にも毎月 1 回出席している。

(2) アジア包装連盟 (APF) との連携 (催事日程は開催国現地時間で表記)

①6月14日(水)～15日(木)の日程で、タイ・バンコクにて開催された戦略会議に出席した。また同時期に開催の展示会、PROPAK アジアにも APF メンバーとして出席した。

・6月14日(水) 10:00 プロパックアジア開会式・アジア包装セミナー

・6月15日(木) 18:00 APF 戦略会議

②APF 主催の包装コンテスト (アジアスター賞) の審査: オンラインにて (9月末)

・Asia Star 2023 Awards 全エントリー数: 109 点/受賞数: 日本 13 点

③10月5日(木)～6日(金)の日程で、フィリピン・マニラにて理事会および一連のイベントが開催された。

・10月5日(木) 9:00 アジア包装セミナー

・10月6日(金) 9:00 理事会・アジアスター表彰式

(3) 国際包装研究機関連絡会 (IAPRI) との連携

IAPRI 事務局とは、メール等により随時情報交換を行い、適宜情報共有を行っている。

(4) 包装視察団の派遣

5月4日(木)～10日(水)にドイツ・デュッセルドルフにて開催された世界最大の国際包装展・インターパック 2023 に包装視察団を派遣した。

会員企業を中心に 44 名の参加者があり、展示会の視察を行った。

視察団日程: 2023 年 5 月 3 日(水)～10 日(水)

(5) 海外からの来日包装関係者の受入れ・海外包装団体との交流

・アルゼンチン包装協会との連携

相互の主催展示会のプロモーション協力を行っている。10月3日(火)～6日(金)にアルゼンチン包装協会主催の展示会 ENVASE ALIMENTEK(アルゼンチン・ブエノスアイレス)にブースを設置し、日本包装技術協会主催、東京国際包装展の広報活動実施を依頼した。

・スペインカタルーニャ州政府事務所要請による、展示会 HISPACK 主催者および産業クラスターとの交流・提携

スペイン・バルセロナにて3年毎開催される展示会 HISPACK の担当者およびパッケージング産業クラスター会長が来日し、11月15日(水) JPI にて面談を行った。面談では今後の協力体制について相互確認がされた。

(6) ミシガン州立大学包装学部が、研修の一環として日本の企業訪問・視察を計画しており、5月にその調整および協力の依頼があったため大学側と協議の上、会員各企業に受け入れ依頼を進めて、2024 年 5 月実施に備えた。

＜普及啓発事業＞

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページからの募集を行っており応募が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々と構成された審査員によって各賞を決定し、入賞作品（最高賞は経済産業大臣賞）をグッドパッケージ展として「暮らしの包装商品展 2023」の特設会場において一般公開した。

木下賞については、本年度も審査員は官学からの有識者で構成され、応募はホームページを通して一般にも公開されるため誰でも無料で応募できるが、審査基準は大変高くまた厳しいものとなっている。本年度は、30件の申込があり、例年どおり4月に審査会を実施して、7件の優秀作品を選定し6月の定時総会場で表彰式を行った。

- 1) 第47回木下賞 審査選考：4月 表彰式：6月13日（火）如水会館
2023年2月1日（水）から3月31日（金）の間に作品を募集し、応募30作品のうち7作品が受賞した。

木下賞

- A. 研究開発部門 ：1件
・ライオン株式会社、株式会社吉野工業所
B. 改善合理化部門：2件
・株式会社J-オイルミルズ、凸版印刷株式会社
・パナソニック エナジー株式会社
C. 新規創出部門：2件
・東洋製罐株式会社、東罐興業株式会社
・アサヒ飲料株式会社、株式会社リコー

包装技術賞：2件

- ・キリンホールディングス株式会社、キリンビバレッジ株式会社
・久光製薬株式会社

2) 2023日本パッケージングコンテスト（第45回）

審査委員は17名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。（審査委員長：東京大学名誉教授 小野 擴邦 氏）

審査選考 6月15日（木）

表彰式 8月30日（水） 東京ガーデンパレス

応募数 400点 入賞 134点（内、ジャパンスター賞 13点）

経済産業大臣賞：『乾電池エボルタ・エボルタネオシリーズ エシカルパッケージ』

パナソニック エナジー株式会社

なお、入賞作品はアジア包装連盟（APF）主催のアジアスター賞、並びに世界包装機構（WPO）主催のワールドスター賞へそれぞれエントリー可能となる。

3) 2023グッドパッケージング展、第47回木下賞受賞作品展

10月26日(木)～27日(金) 「暮らしの包装商品展 2023」会場内特設ブース

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ134点(ジャパンスター賞13点、グッドパッケージング賞121点)の展示を「暮らしの包装商品展 2023」の会場で行った。

また、入賞したパッケージは、すべて作品説明を和英で作成し、機関誌「包装技術」で紹介する他、小冊子を作成しPR活動を行った。

同会場においては、本年度木下賞の受賞作品7点も展示した。

2. 展示会事業 (公益目的事業 2)

昨年10月26日(木)・27日(金)の2日間、東京丸の内・KITTEにて暮らしの包装商品展を開催した。隔年で開催している本展は、包装が果たす役割や重要性について理解を深めていただくことを目的とした消費者を対象とする普及啓発事業である。国民生活における包装の役割や最新の技術動向、各企業での取り組み、そして循環型社会の構築に向けて、消費者と包装関係者が共に集い、より良い包装について共に考える場として、今回も多くの消費者が参加し盛況に開催した。

今回は4年ぶりに出展社を募集し、全15社・団体(共同出展社・JPI含む)の規模で開催した。

また、TOKYO PACK 2024は、2024年10月23日(水)～25日(金)の3日間、東京ビッグサイト東ホールにて開催する。隔年で開催し今回30回目となる本展は、「世界が驚く包装イノベーションを!～TOKYO PACK から世界へ～」を開催テーマに、昨年9月25日(月)より公式ホームページにて出展社の募集受付を開始した。

日本が世界に誇る「環境」、「機能」、「次世代技術」、「印刷・表示技術」の4つのキーワードを推奨テーマとし、TOKYO PACK から世界へ最新の包装技術を発信していく。新企画として、出展社メインブースへの誘導サインとして活用いただくための「出展社インデックスコーナー」、TOKYO PACK へ初めて出展される企業を対象とした「出展トライアルブース」を開設。出展社、来場者にとって、本展が有益な交流の場となるよう展示計画をはじめ併催行事・各種セミナーなど、多彩な企画を実行委員会並びに事務局にて鋭意準備を進めていく。

1) 暮らしの包装商品展 2023 開催概要

会 期：2023年10月26日(木)～27日(金)2日間 11:00～17:00

会 場：東京駅丸の内 KITTE 1F アトリウム B1F 東京シティアイパフォーマンスゾーン

展示内容：2023グッドパッケージング展／2023(第47回)木下賞受賞作品展／クイズラリー

後 援：経済産業省

入 場：一般公開 入場無料

出展企業：15社・団体 (法人格省略)

味の素、味の素 AGF、味の素冷凍食品、イオン、花王、日本コカ・コーラ、
小林製薬、資生堂、東都成型、TOPPAN、福島印刷工業、睦化学工業、
雪印メグミルク、ライオン、日本包装技術協会

景品協賛会社(法人格省略)

味の素、エス・アイ・シー、オパス、オリエント総業、シーボン、資生堂、
ダイナパック、東都成型、TOPPAN、日本化工機材、日本デキシー、

パナソニック エナジー、廣川、ブルボン、丸東産業、三菱商事パッケージング、
睦化学工業、雪印メグミルク、ライオン

来場者数 10月26日(木): 3,096名 10月27日(金): 3,490名 計: 6,586名

2) TOKYO PACK 2024 開催準備

名 称: TOKYO PACK 2024 — 2024 東京国際包装展

Tokyo International Packaging Exhibition 2024

テーマ: 世界が驚く包装イノベーションを! ~TOKYO PACK から世界へ~

会 期: 2024年10月23日(水)~10月25日(金) 3日間 10:00~17:00

会 場: 東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東展示棟

後 援: 経済産業省 他8団体

協 賛: 包装関連団体 100団体

出展募集: 公式ホームページにて出展申込受付

募集期間: 受付開始 2023年9月25日(月) 申込締切 2024年5月10日(金)

出展内容: 包装資材・容器、包装機械、印刷・包材加工機械、食品・医薬品・クリーン関連機材、
検査・計測・環境関連機材、包装デザイン・サービス、次世代テクノロジー、包装・
物流ソリューション、PR・PRESS、海外出展

新企画: 出展社インデックスコーナー、出展トライアルブース 他

併催行事: 2024 グッドパッケージング展、2024 木下賞受賞作品展、

出展社による最新包装技術セミナー、PACKAGE DESIGN PAVILION 2024

3. 調査研究事業 (公益目的事業 3) 東京本部

現在、日本は、ISO/TC122(包装)の議長及び、国際幹事国を引受けており、当協会は、包装分野の国内審議団体として、ISO規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与している。

ISOにおける日本からの提案である、「令和5年度国際ルール形成・市場創造型標準化推進事業費(戦略的国際標準化加速事業: 政府戦略分野に係る国際標準開発活動)(テーマ名: 適正包装に関する国際標準化)事業」は、令和4年度開始の3カ年の事業計画で、本年度はその2年度目に当たる。新規事業として、仮名称 段ボール箱の形式呼称の開発をスタートさせた。継続事業としてISO/TR18607「ISO TR(技術報告書)18600規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック、改正ISO21898「非危険物用フレキシブルコンテナ」の開発を進めている。これら開発事業以外にも国際幹事国としてISO/TC122(包装)における様々な規格開発の支援を行うとともに、他国の提案にあっては、我が国にとって不利益を及ぼす規格とならないよう、適宜規格案の修正・提案を行っている。

また、2023年9月8日にマニラ(フィリピン)で行われたISO/TC122(包装)第25回総会及び付帯する国際会議では、国際幹事国として、現地に関係者を派遣、準備、運営に当たった。

一方、「包装のアクセシブルデザイン」は、日本から提案した4つの国際規格及びJIS規格の開発は終了し、「包装のアクセシブルデザイン」の個別規格として、JIS新規テーマ2件の規格化の活動終え、令和5年度は包装-アクセシブルデザイン-第5部: 集合包装用段ボール箱の重量

に関する情報の表示、包装—アクセシブルデザイン—第6部：詰め替え容器のJIS発行の見込みである。

また、包装は国民の日常生活に深く係っており、絶えず、その標準化を見直し、生活しやすい環境を整えることが求められていることから、本年度もJIS規格の見直し作業も精力的に進めている。

日本の包装産業出荷統計に関する調査研究は、昭和38年の創立以来欠かすことなく継続しており、本年度も2022年の統計を編纂し、これを当会機関誌とホームページで紹介した。

1) ISO/TC 122 (包装)の議長・国際幹事国(事務局)としての活動

(1) 第25回ISO/TC 122総会

2023年9月8日に、マニラ(フィリピン)対面及びオンライン開催し、世界12カ国から36名(うちWeb参加を含め日本から9名)が参加した。

(2) 各WG (規格開発作業グループ) の国際会議への参加

2) ISO/TC 122 (包装)の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

(1) 包装全般の国際規格に関する支援

(2) 「国際標準開発」に対する調査研究

①仮名称 段ボール箱の形式呼称の 国際標準の開発 (日本新規提案)

②ISO/TR18607:「ISO 18600 規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック」の 国際標準の開発 (日本新規提案)

③ISO 21898:「非危険物用フレキシブルコンテナ」の国際標準の開発 (日本改正提案)

④ISO 7683 プラスチックボトルに使用される取り外し可能なシュリンクラベルの設計ガイドライン及び試験方法の開発 (韓国提案への対応)

⑤ISO 4924 宅配便包装に関するエコデザインの原則、評価要求事項及びガイドライン (中国提案への対応)

⑥ISO 17508 危険物輸送包装—ポリエチレン製包装及び共押出プラスチック包装の化学的適合性 (対内容物) および試験方法 (ドイツ提案への対応)

⑦ISO 16103 危険物輸送包装—リサイクルプラスチック材料 (改正ドイツ提案への対応)

3) JIS 制定・改正に関する調査研究

(1) 包装に関するJISの原案作成事業の実施

包装のアクセシブルデザイン規格として

①「集合包装用段ボール箱の個数・重量の情報と表示」の制定

②「アクセシブルデザイン 詰め替え容器」の制定

③ JIS Z 0241「小包輸送のための温度制御輸送包装—試験の一般仕様」の制定

(2) 5年経過したJISの定期見直し

上記標準化開発、調査研究は、政府関連機関からの委託事業又は日本規格協会の公募事業である。

4) 包装産業出荷統計に関する調査研究

(1) 2022 年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	6 兆 0,788 億円	(前年 5 兆 6,863 億円)	前年比 106.9%)
包装関連機械生産金額	4,987 億円	(前年 4,854 億円)	前年比 102.7%)
合計金額	6 兆 5,775 億円	(前年 6 兆 1,717 億円)	前年比 106.6%)

(2) 2023 年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装産業関連各団体より統計資料収集 (調査結果発表 2024 年 7 月予定)

5) 包装技術教育高度化に関する研究・開発

現在、進めている包装技術に関する研究、啓発事業は次のとおりである。

(1) 関係団体の標準化事業への協力

関係団体からの要請に応じ、委員会に出席するなど標準化、研究事業への協力

(2) 啓発活動

出版活動と連携して「Q&A 容器包装規制・基準の手引き誌」、「改訂 2 版 包装...知っとく知識」への改訂執筆

4. 出版関連事業 (収益事業) 東京本部

月刊機関誌「包装技術」は、当会会員により構成された編集委員会によって企画が行われており、創立以来、欠号なく刊行されている。本年度も引続き誌面の一層の充実を図りながら、月刊機関誌として毎月刊行した。本誌は、包装技術及び関連情報が中心となっているが、当会事業の案内や調査研究の成果、さらに新会員の紹介など幅広い内容を掲載し公開している。

本事業は会員への機関誌配布のみならず収益事業として、一般販売による購読収入と広告掲載収入によって進められている。

また、「包装技術便覧」を 1995 年以來の全面改訂版(第 5 版)として 2019 年 2 月に発刊、「包装用語早わかり (包装用語辞典)」を 2022 年 10 月に発刊したことを受け、包装産業界の人材教育、研究開発の一助として広報並びに販売を行った。

1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊 (毎月 1 日発行、2024 年 3 月号で通巻 731 号)

機関誌「包装技術」掲載記事 (法人格略称)

■2023 年 4 月号 特集：第 60 回全日本包装技術研究大会優秀発表

①ガスバリア性接着剤を用いた酸素吸収性能を有するモノマテリアル包材の開発

三菱ガス化学(株) 小林 菜穂子 氏、河野 和起 氏、脇田 菜摘 氏

②「おえかきカレーペン」の開発

ハウス食品グループ本社(株) 田中 郁也 氏、ヤマトエスロン(株) 西本 淳 氏

③キリン生茶グリーンエコロジーボトルの開発

キリンホールディングス(株) 大久保 辰則 氏、山口 菜穂 氏、田中 いくみ 氏

キリンビバレッジ(株) 吉高 一輝 氏

④つかんで瞬開！ V-Link®ジッパーの開発

レンゴー(株) 半田 雅之 氏

⑤棒積みパレット積載とストレッチフィルムパレット梱包による箱材質の低減と保管時トラブルの防止 キューピー(株) 高山 崇 氏

⑥乾燥剤の有効距離と効果発生までの時間 日本化工機材(株) 高橋 裕美 氏

⑦「コタツ」による反物入出庫作業の効率化と安全化 アイロップ(株) 野本 祐里子 氏

⑧省資源トレイ「ビクトレイ」の開発 レンゴー(株) 岸 宏幸 氏

⑨パルプモールド緩衝材の落下解析技術と設計理論の構築
ブラザー工業(株) 名坂 成昭 氏、福井 淳 氏

⑩ 1 試料による包装貨物落下試験機を用いた簡易衝撃強さ試験方法
神栄テクノロジー(株) 川口 和晃 氏

⑪尖度応答スペクトルの提案と振動試験への応用
(地独)大阪産業技術研究所 細山 亮 氏
IMV(株) 上野 和良 氏、山内 佳門 氏、中浦 裕史 氏

■2023 年 5 月号 特集：新時代を担う NEW パッケージデザイン

①角紙管を採用したクラフトジン「MAWSIM」のパッケージデザイン
日本化工機材(株) 成田 瑠里 氏

②コカ・コーラ 新ラベルレスボトルの開発
(株)コカ・コーラ東京研究開発センター 飯田 亮 氏

③環境配慮型段ボールを使用した外装ケースの提案 レンゴー(株) 鈴木 爽生 氏

④NFC 技術で実現する包装 DX 凸版印刷(株) 鷺見 彩 氏

⑤おいしいだけじゃない「かつお節の魅力」再発見！ マルトモ(株) 土居 幹治 氏

⑥コストを変える！マーケットを変える！「売れる」を創る、次世代型スマートパッケージ
(株)横浜リテラ 星野 千晶 氏

⑦ 2 軸延伸ブロー成形技術の最新動向とサステナブルパッケージ
(株)フロンティア 甘利 史哉 氏、跡部 忠宣 氏

⑧AI データ解析×独自のデザイン構築ロジックで、新たな切り口からターゲットに響く販促物の製作に成功！ーキリンビバレッジ株式会社の【アイポプ活用事例】ー

PXC(株) 宮坂 雄一 氏
⑨意匠を利用したヒット商品の紹介 日本弁理士会 青木 寛史 氏

■2023 年 6 月号 特集：心地よい包装～多様性社会へ向けた取り組み

①包装におけるアクセシブルデザインについて (公社)日本包装技術協会 平井 純一

②アクセシブルデザイン関連規格の現状 (公財)共用品推進機構 金丸 淳子 氏

③パッケージデザインでつくる未来 JPDA 学生賞から見える心地よい包装
(公社)日本パッケージデザイン協会 森 孝幹 氏

④包装容器のユニバーサルデザイン
東洋製罐グループホールディングス(株) 平野 睦 氏、森田 陽介 氏

⑤エルゴノミックなバンド掛け梱包「エルゴパック」～これからの包装業界にとっての脅威とチャンス～ エルゴパック ドイツ GmbH レナ・マイヤー 氏、堀富商工(株) 黒木 祥彦 氏

⑥紫外線発色インキを使用したグミのパッケージ ダイナパック(株) 山内 宏晃 氏

⑦水性印刷で紙に優しい手触りをーRB-FIT OP ニスー 大日精化工業(株) 白杉 繭 氏

⑧紙の機能と価値について 日本紙パルプ商事(株) 田名網 進 氏

■2023年7月号 特集：社会の変化と包装

- ①スマートIoTパッケージ®で実現するサプライチェーンDX 大日本印刷(株) 唐澤 憲治 氏
- ②長方形の新型QRコード「rMQRコード®」の開発 (株)デンソーウェーブ 長谷川 拓実 氏
- ③環境に配慮したポストイン対応製品の開発 アスカカンパニー(株) 熊谷 安莉沙 氏
- ④セツカートンの通信販売向け段ボールの取組み
セツカートン(株) 落合 政夫 氏、木野元 朝幸 氏、大川 姫香瑠 氏
- ⑤変化を迫られる物流業界と求められる包装 日本トーカーパッケージ(株) 岸本 浩二 氏
- ⑥パルプモールドで可能な表現の追求 (株)名古屋モールド 山崎 詩央里 氏
- ⑦ハンディ型プラスチック材質判別装置の開発 (株)山本製作所 大森 健司 氏、片平 寛 氏

■2023年8月号 特集：食品・医薬品の流通技術

- ①コールドチェーン物流サービスの国際標準化の推進 国土交通省
- ②包装と物流による生鮮食品ロス削減 三井化学東セロ(株) 成田 淳一 氏
- ③食品のロングライフ化技術について 増田食品開発コンサルティング 増田 敏郎 氏
- ④レトルト殺菌の最新技術 (株)日阪製作所 村瀬 美里 氏
- ⑤い・ろ・は・す 新PETボトル (株)コカ・コーラ東京研究開発センター 岩下 寛昌 氏
- ⑥紙管を使用した食品包装 (株)昭和丸筒 長崎 美智子 氏
- ⑦医薬品ドローン物流の未来 (一社) 日本 UAS 産業振興協議会 岩田 拓也 氏
- ⑧EVOH「エバル®」をシーラント層として用いた医薬用包材 (株)クラレ 野中 康弘 氏
- ⑨偽造対策デザインに使える印刷技術：「影」印刷 昭北ラミネート工業(株) 森野 映介 氏

■2023年9月号 特集：包装による災害への取組み

- ①熊本地震を経た益城町での避難所改善への取組事例 兵庫県立大学 大学院 今石 佳太 氏
- ②防災備蓄と包装資材の再利用 (一社) 防災備蓄収納プランナー協会 長柴 美恵 氏
- ③災害時に備える備蓄食料から類推できる食品品質を制御する技術と備蓄食料管理方法
(一社) 日本食品包装協会 小林 光 氏
- ④非常食向け包装・容器の開発動向と採用例ー減災・備蓄・長期保存食ー
住本技術士事務所 住本 充弘 氏
- ⑤被災者の命を守る段ボールベッドのその後 Jパックス(株) 水谷 嘉浩 氏
- ⑥地域の特性を生かした段ボールベッドの開発 (株)高木包装 高木 美香 氏
- ⑦人にも環境にも優しい災害用備蓄品 トワレス 大塚包装工業(株) 北浦 浩 氏
- ⑧プチプチ®を活用した災害支援 川上産業(株) 荒川 正敏 氏
- ⑨組立式ダンボールテント「DAN DAN DOME」
東洋製罐グループホールディングス(株) 三木 逸平 氏

■2023年10月号 特集：輸出入・大型・重量物包装の最新動向

- ①海外輸出用の青果物の包装について (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 中村 宣貴 氏
- ②木枠から段ボール包装化でカーボンニュートラルの実現 ナビエース(株) 大山 孝一 氏
- ③『EPSユニークパレット』シリーズの開発について～ 発泡スチロールは「空気のプラスチック」～ トーヨー工業(株) 井林 徹 氏
- ④自動車部品の海外輸出包装 (株)日栄紙工社 宮崎 勝裕 氏
- ⑤大型輸出梱包の検討と問題発生時の対策方法について (株)サンリツ 増田 揚征 氏

- ⑥廃木材由来で環境にやさしい「PWP パレット」 旭梱包(株) 関根 信宏 氏
- ⑦大型洗面器の耐荷重性を備えた緩衝材の開発 TOTO(株) 宮地 聡 氏
- ⑧VE(Value Engineering) 手法を活用した海外向け梱包（個別受注生産品）の仕様改善
三菱電機ロジスティクス(株) 和田 遼太郎 氏
- ⑨国際間通い箱「Uni-Pak」 トライウォールジャパン(株) 菊池 将和 氏

■2023 年 11 月号 特集：素材、再発見・包装材料の環境技術最前線

- ①ゲンゼプラスチックカンパニーの資源循環戦略について ゲンゼ(株) 渡邊 信弘 氏
- ②紙だけでパッケージができるヒートシール紙「ラミナ」と紙製バリア包材「シールドプラス」
の最近の活用事例 日本製紙(株) 畠田 眞紀 氏
- ③AI を活用した金属缶耐食性判定システムの開発 大和製罐(株) 宮川 千香子 氏
- ④バイオマス由来の生分解性素材からなる環境配慮型パッケージ『REBIOS®』
レンゴー(株) 今井 景子 氏
- ⑤コンソーシアムで目指すプラスチックの資源循環
(株)アールプラスジャパン 横井 恒彦 氏
- ⑥ガラスびん製造工程の脱炭素技術 東洋ガラス(株) 東條 誠司 氏
- ⑦サステナブル成形品 ecosense molding の特徴と事例
NISSHA(株) 村上 彩佳 氏、藤田 真穂 氏

- ⑧製紙工場、印刷工場などから排出される損紙、廃棄紙を再利用した発泡包装資材
「アースリパブリック® (ER)」について (株)環境経営総合研究所 松下 敬通 氏
- ⑨ポリスチレン樹脂の環境対応技術について PS ジャパン(株) 今野 貴文 氏

■2023 年 12 月号 特集：トイレタリー・化粧品包装の最新動向

- ①ライオンにおける環境容器の技術開発に対する考え方 ライオン(株) 佐藤 剛 氏
- ②可燃物として廃棄できる「紙製繰出式口紅容器」の開発 ブラシーズ(株) 松村 いつか 氏
- ③Biore The CLEANSE オイルメイク落としの容器開発 花王(株) 土屋 英里香 氏
- ④デザイン性と使用性を追求した「パラビオ AC セラム サイ」用パッケージの開発
(株)ヤクルト本社 森田 明里 氏
- ⑤ヒットを生むパッケージ・デザインの最新科学ーゼロ・プロモーション・マーケティングを
可能にするインサイト・アウトサイト理論ー 桜美林大学 宮本 文幸 氏
- ◆特別報告◆包装界の未来に対する提言と今後への期待ー企業は「稼ぐ力とヨコの連携」を、
包装人は「プロを目指して仲間作り」を 有田技術士事務所 有田 俊雄 氏

■2024 年 1 月号 新春特集：第 47 回木下賞受賞論文

- ①再生樹脂の活用とキャップを軽量化した衣類用柔軟剤容器の開発
ライオン(株) 栗田 正実 氏
- ②アルミカップ (Lumisus®) の実用化 東洋製罐(株) 田中 章太 氏
- ③完全ラベルレスの実現に向けたダイレクトレーザーマーキング技術の開発
アサヒ飲料(株) 古菌 智也 氏、和田聡太 氏
(株)リコー 市川 陽一 氏、福岡 直紀 氏、林 善紀 氏
- ④キリン生茶グリーンエコロジーボトルの開発
キリンホールディングス(株) 大久保 辰則 氏、山口 菜穂 氏、田中 いくみ 氏
キリンビバレッジ(株) 吉高 一輝 氏

⑤外用鎮痛消炎剤であるモーラス®テープ 20mg/モーラス®テープ L40mg の一次包装袋において医療用医薬品初のリサイクル PET80%を採用

久光製薬(株) 小野 雅文 氏、若松 真人 氏、高田 恭憲 氏

◆年頭所感◆ (公社)日本包装技術協会 大塚 一男 会長

◆新春随筆◆ アイロップ(株) 米田 芳弘 氏、浅野段ボール(株) 吉田 将之 氏、朝日印刷(株) 朝日 重紀 氏、アサヒビール(株) 松山 一雄 氏、(株)アステックコーポレーション 加納 康昭 氏、アンリツ(株) 新美 眞澄 氏、飯田電機工業(株) 飯田 美里 氏、(株)イシダ 石田 隆英 氏、出光ユニテック(株) 森川 寛人 氏、伊藤景パック産業(株) 伊藤 景一郎 氏、APC エアロスベシヤルティ(株) 山下 一朗 氏、SBS 東芝ロジスティクス(株) 金澤 寧 氏、SBS リコーロジスティクス(株) 若松 勝久 氏、(株)NX 総合研究所 田中 博之 氏、王子インターパック(株) 石坂 全佐雄 氏、王子コンテナ(株) 関野 和貴 氏、王子ホールディングス(株) 磯野 裕之 氏、(株)カナエ 樋高 成憲 氏、川上産業(株) 安永 圭佑 氏、紀州技研工業(株) 釜中 眞次 氏、共同印刷(株) 藤森 康彰 氏、キリンホールディングス(株) 磯崎 功典 氏、グンゼ(株) 佐口 敏康 氏、興人フィルム&ケミカルズ(株) 大石 康裕 氏、サカタインクス(株) 上野 吉昭 氏、笹徳印刷(株) 杉山 昌樹 氏、サッポロビール(株) 野瀬 裕之 氏、(株)サンリツ 三浦 康英 氏、(株)昭和丸筒 佐藤 潤 氏、神栄テクノロジー(株) 小山 文也 氏、(株)新開トランスポートシステムズ 蒲池 一聡 氏、親和パッケージ(株) 清水 裕樹 氏、スーパーバッグ(株) 樋口 肇 氏、ストラパック(株) 下島 敏章 氏、セッツカートン(株) 丹羽 俊雄 氏、総合パッケージ(株) 山川 泰司 氏、大日本印刷(株) 北島 義斉 氏、太洋工業(株) 清川 竹男 氏、大和製罐(株) 山口 裕久 氏、(株)タマヤ 川島 康司 氏、中央商工(株) 遠藤 充也 氏、DIC(株) 猪野 薫 氏、(公社)鉄道貨物協会 神立 哲男 氏、(株)デンソーロジテム 岡崎 彰徳 氏、東芝デバイス&ストレージ(株) 佐藤 裕之 氏、東洋アルミニウム(株) 楠本 薫 氏、東洋製罐(株) 本多 正憲 氏、(株)トーモク 中橋 光男 氏、TOPPAN (株) 齊藤 昌典 氏、長島梱包(株) 長島 祐司 氏、ナビエース(株) 大辻 誠 氏、ナビエース関東(株) 相羽 伸一 氏、(一社)日本海事検定協会 石田 正明 氏、日本化工機材(株) 大澤 浩一郎 氏、日本クロージャー(株) 桐 基晃 氏、日本トーカンパッケージ(株) 浅名 弘明 氏、日本マタイ(株) 中西 孝夫 氏、日本山村硝子(株) 山村 幸治 氏、ノードソン(株) 内田 勝 氏、PACRAFT(株) 北村 明義 氏、(株)古川製作所 古川 雅章 氏、(株)マルイチ 寺田 潤一 氏、丸正(株) 石黒 達也 氏、(株)ミカサ 笠松 宏一郎 氏、見田工作(株) 見田 昌靖 氏、三井化学東セロ(株) 松坂 繁治 氏、三菱商事パッケージング(株) 松永 茂生 氏、三菱電機ロジスティクス(株) 四方 壽一 氏、(株)明治 松田 克也 氏、森紙業(株) 北村 正 氏、森永乳業(株) 大貫 陽一 氏、(株)ヤクルト本社 成田 裕 氏、大和紙器(株) 窪田 英志 氏、雪印メグミルク(株) 佐藤 雅俊 氏、ライオン(株) 竹森 征之 氏、(株)レゾナック・パッケージング 飯島 聖好 氏、レンゴー(株) 川本 洋祐 氏、ロジスティード(株) 高木 宏明 氏

◆新春一問一答◆ (公社)日本包装技術協会 井上 寛 常務理事、森長 祐二 常務理事、竹松 厚 常務理事、下島 敏男 理事、柏原 正人 理事、津田 邦夫 理事、戸谷 隆一 理事、坂田 亮 理事

◆新春対談◆ プラスチック包装，どうなる？どうする！

(一社)日本食品包装協会 石谷 孝佑 氏、明治大学 永井 一清 氏

■2024年2月号 特集：2023 日本パッケージングコンテスト JAPAN STAR 受賞作品

①乾電池エボルタ・エボルタネオ エシカルパッケージの開発

パナソニック エナジー(株) 加藤 豊堂 氏、中田 早百合 氏

②世界初！リサイクルアルミ 100%使用缶 サントリーホールディングス(株) 荻野 大介 氏

③段ボール製エキスパンダー規格パレット拡張術ー レンゴー(株) 鈴木 友和 氏

④ClearX®ーハイパフォーマンズシリレンジシステムー 大成化工(株) 増田 翔太 氏

⑤積載重量大幅 UP を実現！段ボール製バンドレス容器～国際物流の混乱に緊急対応（スチールから段ボールへ）～ ナビエース(株) 杉本 洋輔 氏

⑥資源循環を目指した高性能紙緩衝材の開発 セイコーエプソン(株) 大田 司 氏

⑦「片手で簡単に開封できるバリア性を有する安価なユニバーサルデザインの個袋体」の開発 VPAK (株) 橋本 忠 氏

⑧おかえりつめかえパック

花王(株) 若林 裕樹 氏

■2024年3月号 特集：伝わる、伝えるパッケージデザイン

①未来をつつむ、ソノサキのパッケージデザイン

(株)かたちなきもの 草野 紀親 氏

②感性脳工学により最適なパッケージデザインを導く解析サービス

コニカミノルタ(株) 浦谷 勝一 氏

③POP 広告から見る、商品企画とパッケージの潮流

桜美林大学 向坂 文宏 氏

④DO Cacao Chocolate のパッケージ開発

(株)ロッテ 小垣 美津子 氏

⑤料理とスパイスの楽しさを子どもに“伝える”「スパイス付き絵本」ーわくわくスパイストリオのだいぼうけんシリーズ 取組みについてー

ハウス食品(株) 楠本 明日香 氏

⑥サントリー天然水 新ラベルレスボトルの開発

サントリーホールディングス(株) 大住 裕一 氏

⑦「伝わるデザイン」認証を取得した『炊き込み御膳』の新パッケージ

江崎グリコ(株) 佐藤 敏明 氏

2) 「包装技術便覧/2019年2月発刊」、「包装用語早わかり(包装用語辞典)/2022年10月発刊」の販売

3) 「改訂版 包装...知っとく知識」の改訂2版発刊準備(2024年10月発刊予定)

4) 「Q&A 容器包装規制基準の手引き」誌の編纂

第2. 諸 会 議

- | | | |
|--------------|--|-----------------|
| 1) 理事会 | 5月16日(火)、6月13日(火) | 如水会館、オンライン併催 |
| | 11月20日(月)、3月6日(水) | 如水会館、オンライン併催 |
| 2) 常務理事会 | 10月16日(月) | リアル開催から書面審議に変更 |
| | 2月13日(火) | JPI 会議室、オンライン開催 |
| 3) 全国支部連絡会 | 5月29日(月) | オンライン開催 |
| | 12月6日(水) | 奈良県コンベンションセンター |
| 4) 本部・支部諸会議 | 本支部単位で運営委員会・講習会委員会等を逐次開催 | |
| ①東京本部 (研修教育) | 包装専士講座研修委員会、包装管理士講座研修委員会、WEB フォーラム委員会、包装懇話会幹事会、各種セミナー企画委員会、他 | |
| (展 示 会) | 東京国際包装展実行委員会 | |
| (調査研究) | ISO/TC122 委員会、JIS 委員会、包装統計委員会、他 | |
| (出 版) | 月刊「包装技術」編集委員会 | |
| ②関西支部 | 支部役員会 5月22日(月)、運営委員会 12月1日(金)・3月8日(金) | |
| | 生活者包装研究懇談会実行委員会 8月3日(木)・3月6日(水) | |
| ③中部支部 | 役員会 5月25日(木)、運営委員会 9月15日(金)・3月8日(金) | |
| | 研究例会テーマ検討作業部会 2月9日(金) | |
| ④西日本支部 | 運営委員会 8月・2月 会合中止、個別訪問報告 | |
| ⑤北海道支部 | 運営委員会 5月23日(火)・12月11日(月) | |
| ⑥東北支部 | 運営委員会 5月18日(木)・9月21日(木)・3月14日(木) | |

第3. 行事・その他の活動

1) 行事

(1) 第12回定時総会	6月13日(火)	如水会館
(2) 新年会		
東京本部 2024年包装界合同新年会	1月9日(火)	ホテル椿山荘東京
関西支部 2024年新春会員交流会/講演会	1月19日(金)	大阪倶楽部
中部支部 2024年新年賀詞交歓会	1月24日(水)	名古屋マリオットアソシアホテル
北海道支部 2024年新春賀詞交歓会/新春研究会	1月22日(月)	ニューオータニイン札幌
東北支部 2024年新年名刺交換会/新春講演会	2月5日(月)	江陽グランドホテル

2) 会員交流会・支部特別講演会

①東京本部 総会会員交流懇親会	6月13日(火)	如水会館
包装管理士合格証書授与式・交流会	10月20日(金)	A P 日本橋
②関西支部 支部会員総会/交流懇親会	5月22日(月)	ホテル日航大阪
包装管理士合格証書授与式・交流会	10月27日(金)	ハートンホテル北梅田
③中部支部 支部会員総会/交流懇親会	6月20日(火)	メルパルク名古屋
包装管理士合格証書授与式・交流会	11月2日(木)	サイプレスホテル名古屋駅前
④西日本支部 定時総会報告会 8月 西鉄イン福岡→中止		
包装管理士合格証書授与式・交流会	11月2日(木)	西鉄イン福岡ホテル
⑤北海道支部 支部会員総会	7月12日(水)	ニューオータニイン札幌
I P P 合同親睦会	中止	
包装管理士合格証書授与式・交流会	11月15日(水)	ニューオータニイン札幌
⑥東北支部 包装管理士合格証書授与式・交流会	11月10日(金)	江陽グランドホテル

3) その他の活動

- (1) Web サイトによる最新情報の提供 ホームページ定期更新12回ほか逐次情報発信
 JPI 公式ホームページ : <https://www.jpi.or.jp/>
 東京国際包装展ホームページ : <https://www.tokyo-pack.jp>
 SNS (facebook アカウント) : TOKYO PACK・東京国際包装展
- (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 メールマガジン年間12回 他、臨時配信
- (3) J P I 関連団体との連絡提携
 日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
 技術士包装物流会、日本包装学会、日本MH協会 他
- (4) 行政機関要請への協力と連携、研究機関、消費者団体、市民団体等との連携
 経済産業省、厚生労働省、環境省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、消費者庁、
 東京都、福岡県循環推進課、(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、
 あいち産業科学技術総合センター、その他要請内容について随時判断

第4. 組 織

本年度会員動勢（2023年4月1日～2024年3月31日）は、次の通りである。

1. 法人会員

2023年度期首	2023年度		
987 社	入 会 数 21 社	退 会 数 24 社	現 在 数 984 社

2. 個人会員

2023年度期首	2023年度		
137 名	入 会 数 21 名	退 会 数 22 名	現 在 数 136 名

<会 員 登 録 動 勢 一 覧>

	2023年 4月1日		本 年 度		2023年 合 計
			入 会	退 会	
会 員 総 数	1124		42	46	1120
法 人	987 社		21 社	24 社	984 社
（口数）	(1014)		(21)	(25)	(1010)
個 人	137 名		21 名	22 名	136 名
登 録 員 数	法人	987 社 2606 名	21 社 48 名	24 社 58 名	984 社 2596 名
	個人	137 名	21 名	22 名	136 名
	合計	2743 名	69 名	80 名	2732 名
本部（東京）	法人	1505 名	23 名	26 名	1502 名
	個人	68 名	9 名	9 名	68 名
関 西 支 部	法人	568 名	13 名	16 名	565 名
	個人	35 名	6 名	9 名	32 名
中 部 支 部	法人	354 名	2 名	10 名	346 名
	個人	18 名	4 名	3 名	19 名
西日本 支部	法人	89 名	10 名	5 名	94 名
	個人	5 名	1 名	0 名	6 名
北海道 支部	法人	46 名	0 名	1 名	45 名
	個人	1 名	0 名	0 名	1 名
東 北 支 部	法人	44 名	0 名	0 名	44 名
	個人	10 名	1 名	1 名	10 名

支 部

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

2023年4月1日～2024年3月31日

◎北海道支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及開発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第58期包装管理士講座(札幌会場募集枠)

1. 受講者・合格者

総受講数：9名 合格者：8名(内訳：生活者3名・輸送5名)

2. カリキュラム

①集合研修：日帰り(ロワジールホテル豊橋)

- ・生活者包装コース 5月31日(水)
- ・輸送包装コース 6月1日(木)

②オンライン講義

- ・統括教科 6月7日(水)
- ・材料教科 6月14日(水)～6月16日(金)
- ・専門教科
 - ・輸送包装コース 6月27日(火)～6月30日(金)
 - ・生活者包装コース 7月4日(火)～7月7日(金)

③オンライン筆記試験

- ・輸送包装コース／生活者包装コース 8月28日(月)

④合宿研修 ロワジールホテル豊橋

- ・ケーススタディ・面接試験
- ・生活者包装コース 9月6日(水)～9月8日(金)
- ・輸送包装コース 9月11日(月)～9月13日(水)

2) 研究会・講演会

(1) 2023 北海道支部総会特別講演

7月12日(水) ニューオータニイン札幌 参加者 34 名

テーマ：「人工知能の未来 Chat GPT を超えて」

講 師：北海道大学大学院 情報科学研究院 情報理工学部 複合情報工学分野

調和系工学研究室 教授

川村 秀憲 氏

(2) 包装懇話会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)

11月15日(水) ニューオータニイン札幌

参加者 31名

テーマ:「欧州包装専門視察団 インターパック 2023 報告」

講師: 公益社団法人日本包装技術協会

包装技術研究所 輸送包装研究室 室長

金子 武弘

(3) 新春研究会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)

1月22日(月) ニューオータニイン札幌

参加者 55名

テーマ:「AIやデザイン思考でパッケージデザインはどう変わるか」

講師: 株式会社プラグ 代表取締役社長

小川 亮 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 企業見学研究会 (北海道生産性本部と共催) 10月30日(月)

参加者 34名

①エスコンフィールド HOKKAIDO (北広島市)

②雪印メグミルク株式会社 札幌工場 (札幌市)

第2. 諸会議

1) 第1回支部運営委員会 5月23日(火) 北海道経済センター

出席者 8名

2) 第2回支部運営委員会 12月11日(月) 北海道経済センター

出席者 7名

第3. 行事・その他の活動

1) 北海道支部総会 7月12日(水) ニューオータニイン札幌

参加者 13名

2) 第58期包装管理士講座合格証書授与式・レポート発表会

参加者 27名

・交流会

参加者 22名

11月15日(水) ニューオータニイン札幌

3) J P I 北道支部・I P P 北海道支部合同親睦会

開催中止

4) 2024年賀詞交歓会(日本包装管理士会北海道支部と共催) 1月22日(月)

参加者 29名

◎東北支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及開発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第58期包装管理士講座(仙台会場募集枠)

1. 受講者・合格者

総受講数: 12名 合格者: 12名(内訳: 生活者4名・輸送8名)

2. カリキュラム

①集合研修: 日帰り(ロワジールホテル豊橋)

・生活者包装コース

5月31日(水)

・輸送包装コース

6月1日(木)

②オンライン講義

- ・統括教科 6月7日(水)
- ・材料教科 6月14日(水)～6月16日(金)
- ・専門教科
 - ・輸送包装コース 6月27日(火)～6月30日(金)
 - ・生活者包装コース 7月4日(火)～7月7日(金)

③オンライン筆記試験

- ・輸送包装コース／生活者包装コース 8月28日(月)

④合宿研修 ロワジールホテル豊橋

- ・ケーススタディ・面接試験
- ・生活者包装コース 9月6日(水)～9月8日(金)
- ・輸送包装コース 9月11日(月)～9月13日(水)

2) 研究会・講演会

1. JPI WEB フォーラム(東北支部主催) オンライン開催

①11月22日(水) 13:00～15:00 参加者 104名

「包装印刷における色管理のデジタル化・標準化によるコスト削減・業務改善」

エックスライト社 セールス&マーケティング部 担当部長 川守田 孝治 氏

②2月22日(木) (西日本支部・東北支部共催) 参加者 200名

「2023 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会」

発表①:「吸湿くん EX」

丸東産業株式会社 営業企画推進部 木下 聡史 氏

発表②:「糊貼りしないパッケージ」

富山スガキ株式会社 企画制作部 設計開発課 赤井 智昭 氏

発表③:「かみブチ」

川上産業株式会社 東京営業所 伊澤 洋一 氏／商品開発部 油井 雅光 氏

発表④:「らくらく施工アシスト付包装」

TOTO株式会社 衛陶設計部 衛陶生産設計 第二グループ

山下 龍太郎 氏

発表⑤:「使用済みコピー用紙からつくった! 高性能緩衝材」

セイコーエプソン株式会社 P 商業・産業企画設計部 大田 司 氏

発表⑥:「衝撃吸収機能を備えた人工大理石カウンター包装」

TOTO株式会社 トイレ空間商品開発部 トイレ空間包装印刷物グループ

宮下 貴行 氏

2. 2023 年度東北支部包装技術研究発表大会(現地開催)

*第58期包装管理士講座合格証書授与式・新包装管理士を囲む会併催

日 時: 11月10日(金) 13:30～15:40 参加者 37名

会 場: 江陽グランドホテル 孔雀の間

プログラム：

「紙器パッケージにおける、環境優位性と消費者配慮機能の両立を目指したパッケージデザインの展開」	
精英堂印刷株式会社	八巻 翔太 氏
「リール用ダンボールの改善」	
王子コンテナ株式会社	荒屋 克幸 氏
「形状変更によるコストダウン、作業効率への提案」	
王子コンテナ株式会社	阿部 源城 氏
「量販店向けトマト出荷箱の形状提案」	
山形段ボール株式会社	菅野 貴浩 氏
「弁当用スリーブのリニューアルにおける環境配慮スリーブの開発」	
TOPPAN 株式会社	石川 翔太 氏

3. 2024 年新春特別講演会（現地開催）＊2024 年東北包装界新年名刺交換会併催

日 時：2 月 5 日（月）	15:00～16:00	参加者 42 名
会 場：江陽グランドホテル	白鳥の間	
テーマ：「内政と外交の行方～経済政策、台湾、中東情勢を中心に～」		
講 師：自由民主党 広報副本部長 参議院議員		和田 政宗 氏

4. 2023 年度包装研究講演会（現地開催）

日 時：3 月 14 日（木）	15:00～16:00	参加者 19 名
会 場：江陽グランドホテル		
テーマ：「インターパック 2023 に見る包装事情と市場の状況」		
講 師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 輸送包装研究室 室長 金子 武弘		

＜交流事業＞ （公益目的事業 1）

1. 工場見学会 来期へ延期

第2. 諸会議

1) 東北支部運営委員会

第1回	5月18日(木)	17:00～18:00	仙台第一生命タワービル会議室
議 題	(1) 新任事務局長森永よりご挨拶 今後の東北支部運営について意見交換 (2) 上期事業報告および下期事業計画案について (3) 2024 年賀詞交換会・特別講演会について		
第2回	9月21日(木)	【オンライン会議】	
議 題	(1) 上期事業報告および下期事業計画案について (2) 2024 年賀詞交換会・特別講演会講演者について		
第3回	3月14日(木)	13:00～14:00	江陽グランドホテル
	＊同日に対面開催にて包装研究講演会		
議 題	(1) 2023 年度事業報告 (2) 2024 年度事業計画案について		

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第58期包装管理士講座合格証書授与式・新包装管理士を囲む会 参加者 18名
 11月10日(金) 江陽グランドホテル 孔雀の間
 ＊2023年度東北支部包装技術研究発表大会併催
- 2) 2024年東北包装界新年名刺交換会 参加者 42名
 2月5日(月) 江陽グランドホテル 鴛鴦の間
 ＊2024年新春特別講演会併催

◎中部支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及開発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第58期包装管理士講座(名古屋会場募集枠)

1. 受講者・合格者

総受講数: 53名 合格者: 50名(内訳: 生活者18名・輸送32名)

2. カリキュラム

①集合研修: 日帰り(ロワジールホテル豊橋)

- ・生活者包装コース 5月31日(水)
- ・輸送包装コース 6月1日(木)

②オンライン講義

- ・統括教科 6月7日(水)
- ・材料教科 6月14日(水)～6月16日(金)
- ・専門教科
 - ・輸送包装コース 6月27日(火)～6月30日(金)
 - ・生活者包装コース 7月4日(火)～7月7日(金)

③オンライン筆記試験

- ・輸送包装コース／生活者包装コース 8月28日(月)

④合宿研修 ロワジールホテル豊橋

- ・ケーススタディ・面接試験
- ・生活者包装コース 9月6日(水)～9月8日(金)
- ・輸送包装コース 9月11日(月)～9月13日(水)

2) 講演会・研究会

(1) JPI WEB フォーラム(中部支部主催) オンライン開催

- ①10月4日(水) 参加者 170名

『容器包装2030』持続可能な容器包装の実現」

アサヒ飲料株式会社 技術研究所 所長

張 義宏 氏

- ②10月19日(木) 参加者 89名
「輸送中の荷台振動の加速度 PSD を簡易に取得する方法の提案」
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 製品信頼性研究部 研究員 堀口 翔伍 氏
- ③10月24日(火) 参加者 189名
「環境を意識した包装設計への取り組み事例」
カネパッケージ株式会社 設計部 課長 中村 圭介 氏
- ④3月29日(金) 参加者 155名
「包装の立場から考える『我々はなぜ脱炭素をやらなければならないのか』」
フタムラ化学株式会社 中部統括開発グループリーダー 花市 岳 氏

(2) 包装技術講習会

- 11月15日(水) ウィンクあいち(会場聴講+ウェビナー聴講(Zoom)) 参加者 77名
テーマ①:「乾燥剤の有効距離と効果発生までの時間」
講師:日本化工機材株式会社 技術本部 R&D センター 化成品技術グループ 高橋 裕美 氏
テーマ②:「プラスチックリサイクル側から見た環境配慮型設計とは?」
~ Green Washing と呼ばれないために~
講師:エレマ・ジャパン株式会社 取締役 内藤 稔 氏

(3) 第60回中部支部会員総会記念講演会

参加者 65名

- 6月20日(火) ホテルメルパルク名古屋 2階「羽衣」
テーマ:「高齢化社会 ~30年データで読み解く生活者の“これから”~」
講師:株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所 所長 石寺 修三 氏

(4) 2023日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

参加者 78名

- 12月14日(木) ウィンクあいち(会場聴講+ウェビナー聴講(Zoom))
テーマ①:「Vlog カメラ ZV-E1 の環境対応パッケージ」
講師:ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社
設計部門 プラットフォーム技術5部 4課 深澤 修平 氏
テーマ②:「振動でずれても耐荷重の劣化を抑制する三角構造仕切の開発」
講師:株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室
輸出包装課 (包装管理士) 山下 謙二 氏
テーマ③:「デジタル印刷機用 大径感光ドラムの新包装」
講師:京セラ株式会社 経営管理本部 経営管理部 本社物流部
物流技術課 (包装管理士) 中川 凌 氏
テーマ④:「積載重量大幅 UP を実現! 段ボール製バンドレス容器
~国際物流の混乱に緊急対応(スチールから段ボールへ)~」
講師:ナビエース株式会社 営業本部販売推進部 (包装管理士) 杉本 洋輔 氏
進行兼コメンテーター:あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
環境材料室 主任研究員 村松 圭介 氏

(5) 第62回包装技術研究大会中部大会

参加者 59 名

2月21日(水) ウィンクあいち(会場聴講+ウェビナー聴講(Zoom))

内容①:「衣料用粉末洗剤のカートンサイズ変更による空間容積率の改善」

講師: NS ファーフア・ジャパン株式会社 R&D 本部 資材開発部

マネージャー(第58期包装管理士) 元井 敏寛 氏

内容②:「社内廃材リサイクルによる再生材料使用容器の開発」

講師: サンエイ株式会社 営統事業部 物流課 課長(第58期包装管理士) 丸地 克典 氏

内容③:「メンズビゲン シックグレーの製品開発」

講師: ホーユー株式会社 総合研究所 製品開発第1研究室 製品開発 C5 課

係長(第58期包装管理士) 西村 俊宏 氏

内容④:「スポットクーラー用オール段ボール包装材の開発」

講師: ナビエース株式会社 中部・関西営業本部

設計部(第58期包装管理士) 山下 綾菜 氏

内容⑤:【特別講演】『食品流通用段ボール製ワンウェイトレー「スマイルトレ」の開発』

講師: セツカートン株式会社 伊丹工場営業部包装開発課

課長(包装専士) 木野元 朝幸 氏

内容⑥:【特別講演】『電池なし無線加速度センサによる輸送包装試験』

講師: 慶應義塾大学 政策・メディア研究科

特任教授 徳増 理 氏

(6) 第34回包装研究懇話会

参加者 27 名

3月6日(水) 【見学先】 竹本油脂株式会社 亀岩工場と研究所

【内 容】 施設見学と勉強会

3) セミナー

(1) 2023年度包装設計の基礎講座

参加者 33 名

5月18日(木)・19日(金) 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

【講演内容】

第1日目

<包装の役割と包装設計の考え方>

- ・包装の社会的役割
- ・適性包装に向けて包装設計の考え方

三菱電機ロジスティクス株式会社 物流技術部 主管(包装管理士) 星野 弘行 氏

<段ボール箱の基礎と応用>

- ・段ボールの構造と原紙種類
- ・段ボール箱の規格と製造工程
- ・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

<段ボール箱の設計>

- ・段ボール箱の設計手順
- ・段ボール箱の設計要因と劣化要因
- ・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

<段ボール箱の製作>

- ・段ボール箱の製作

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

<機能性プラスチック包装材料>

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例・包装材料を取り巻く世界の法規制

株式会社アイセロ 商品開発本部 開発2部 次長 溝端 一幸 氏

第2日目

<緩衝包装设计>

- ・緩衝包装の目的 ・緩衝材の種類 ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 飯田 恭平 氏

<包装試験の目的と試験法>

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任 村松 圭介 氏

<包装試験施設の見学>

包装試験関連施設（衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター環境材料室 主任研究員 林 直宏 氏 他

<トータルコスト削減に向けた集合包装> （※Teams を利用したオンライン講義で実施）

- ・ トータルコスト削減に向けた集合包装

三菱電機株式会社 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部設計技術開発グループ 新井 達也 氏

<包装改善とロジスティクス>

- ・ロジスティクスの中での包装の役割 ・輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室

室長（包装管理士） 佐藤 嘉和 氏

<交流事業> （公益目的事業 1）

見学会

参加者 25 名

【日 時】 11 月 6 日（月） 9：00～17：00

【見学先】 ①三井食品工業株式会社 本社工場（愛知県一宮市）

②株式会社フジキカイ THE BASE NAGOYA（愛知県北名古屋市）

第2．諸会議

- 1）第60回中部支部役員会 5月25日（木） 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2）第60回中部支部会員総会 6月20日（火） メルパルク名古屋
- 3）中部支部運営委員会
 - 第1回 9月15日（金） 名鉄グランドホテル
 - 第2回 3月8日（金） 名鉄グランドホテル
- 4）2023年度研究例会等講演テーマ検討作業部会 2月9日（金） オンライン会議

第3．行事・その他の活動

- 1）第60回 会員総会 会員交流会 参加者 65 名
6月20日（火） メルパルク名古屋 2階「若葉」

2) 第58期包装管理士合格証書授与式・交流会

11月2日(木) サイプレスホテル名古屋駅前

合格証書授与式 2階「扇の間」

参加者 33名

交流懇親会 2階「葵の間」

参加者 35名

3) 2024年中部包装界新年賀詞交歓会

1月24日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル

参加者 99名

◎関西支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及開発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第58期包装管理士講座(大阪会場募集枠)

1. 受講者・合格者

総受講数: 86名 合格者: 83名 (内訳: 生活者 56名・輸送 27名)

2. カリキュラム

①集合研修: 日帰り(ロワジールホテル豊橋)

・生活者包装コース

5月31日(水)

・輸送包装コース

6月1日(木)

②オンライン講義

・統括教科

6月7日(水)

・材料教科

6月14日(水)~6月16日(金)

・専門教科

・輸送包装コース

6月27日(火)~6月30日(金)

・生活者包装コース

7月4日(火)~7月7日(金)

③オンライン筆記試験

・輸送包装コース/生活者包装コース

8月28日(月)

④合宿研修 ロワジールホテル豊橋

・ケーススタディ・面接試験

・生活者包装コース

9月6日(水)~9月8日(金)

・輸送包装コース

9月11日(月)~9月13日(水)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム(研究会) 関西支部主催

①7月26日(水)

参加者 212名

「東西在住のZ世代に聞きました!“あなたが支持する包装容器とは”」

～インスタント食品&缶・PETボトル入り飲料編～

日報ビジネス株式会社 包装編集部係長

吉野 加代子 氏・福本 周子 氏

②8月23日(水)

参加者 262 名

「海外リサイクルガイドライン状況についての報告」

「環境対応バリア包装材事例と食品保存試験についての報告」

株式会社クラレ エバール事業部エバール研究開発部主管

山本 喜雄 氏

株式会社クラレ エバール事業部エバール研究開発部

石内 聡史 氏

コーディネータ：吉永委員(凸版印刷株式会社)

③9月29日(金)

参加者 98 名

「共同輸送マッチングサービス“TranOpt(トランオプト)”による輸送効率化」

日本パレットレンタル株式会社 デジタルロジスティクス推進部

輸送マッチング推進グループ

渡邊 安彦 氏

コーディネータ：安川委員長(レンゴー株式会社)

④10月26日(木)

参加者 126 名

「ステルスインクを使用したトレーサビリティについて」

紀州技研工業株式会社 営業本部長

塩崎 智之 氏

コーディネータ：辻本委員(大日本印刷株式会社)

⑤11月28日(火)

参加者 140 名

「サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組み～技術手法からアプローチ～」

日本山村硝子株式会社 環境室副参事

山本 柱 氏

コーディネータ：佐原委員(月桂冠株式会社)

⑥12月15日(金)

参加者 321 名

「パッケージを取り巻く世界動向：

メカニカルリサイクルとケミカルリサイクル、欧米の新たな規制法案」

株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長

森 泰正 氏

コーディネータ：鵜尾委員(サンスター株式会社)

⑦1月30日(火)

参加者 169 名

「パナソニック乾電池パッケージの取組み～エシカルパッケージの導入～」

パナソニック エナジー株式会社 エナジーデバイス事業部コンシューマーエナジー

ビジネスユニット商品技術部意匠・包装設計課課長

加藤 豊堂 氏

ビジネスユニット商品技術部意匠・包装設計課

中田 早百合 氏

コーディネータ：大塚副委員長(パナソニックホールディングス株式会社)

(2) 生活者包装研究懇談会

メンバー42 名

①10月24日(火) ハートンホテル北梅田

「国内外における循環型パッケージの背景、現状、今後について」

住本技術士事務所 所長

住本 充弘 氏

(コーディネータ) 三笠産業株式会社

遠藤 明子 氏

「オリックス環境とPTP廃材のマテリアルリサイクルの推進について」

オリックス環境株式会社 営業第一部部長

滝本 智明 氏

(コーディネータ) 大塚製薬株式会社

藤井 洋己 氏

◇交流会

②11月21日(火) 見学会

大同薬品工業株式会社 本社・工場

株式会社アンズコーポレーション 奈良工場

③1月25日(木) ハートンホテル北梅田

「ドレッシング容器の変遷～100%再生PET樹脂に至るまで～」

キューピー株式会社 品質保証本部 品質保証一部次長

和手 憲幸 氏

(コーディネータ) ユニチカ株式会社

西谷 千恵美 氏

「薬剤師・服用者の利便性に配慮した医薬品包装の開発と未来」

熊本大学大学院 生命科学研究部グローバル天然物科学研究センター

医薬品包装学寄附講座特任准教授

岩崎 竜之 氏

(コーディネータ) バイエル薬品株式会社

福井 健司 氏

◇交流会

3) セミナー・コース

(1) 第30回包装基礎コース

参加者 42 名

5月10日(水)～12日(金) ハートンホテル北梅田

「包装概論」

(公社)日本包装技術協会 常務理事・事務局長

小籠 宣幸

「板紙・紙器」

大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部

イノベティブ・パッケージングセンター

製品・システム開発本部製品開発部第2課課長

辻本 隆亮 氏

「段ボール」

レンゴー株式会社 包装技術第一部

大阪包装技術第一課担当部長

杉田 裕紀 氏

「金属缶」

東洋製罐株式会社 品質保証部 茨木品質課課長

谷野 友哉 氏

「プラスチック容器」

東洋製罐株式会社 品質保証部大阪品質課課長

西村 義明 氏

「ガラス容器」

日本山村硝子株式会社 ガラスびんカンパニー

生産本部技術開発部型成形チームリーダー

大西 邦和 氏

「プラスチックフィルム」 ユニチカ株式会社 経営統括部品質保証室長

中野 功 氏

「生活者包装技法」 凸版印刷株式会社 生活・産業事業本部SX推進センター

SXパッケージ開発本部 西日本開発部開発戦略チーム

知財開発グループ課長

三宅 英信 氏

「輸送包装」

アイロップ株式会社 包装技術部参事

吉木 宏 氏

(2) 第17回緩衝包装设计実践コース

参加者 8 名

10月13日(金) 大阪産業技術研究所 和泉センター

講義 1.緩衝材についての基礎知識 2.緩衝設計のための力学の基礎 3.緩衝理論

(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 製品信頼性研究部生活科学・輸送包装研究室長

津田 和城 氏

講義・実習 4.発泡プラスチック緩衝材の設計手順 5.付属品と緩衝材のレイアウト検討

6.グループ演習 7.落下試験・衝撃値測定 8.各種評価試験設備の見学

日伸工業株式会社 俊徳工場品質管理部

成本 裕一 氏

(3) 第50回段ボール包装設計実習コース

参加者 27 名

11月16日(木)・29日(水) ハートンホテル北梅田

11月17日(金)・30日(木) アイロップ株式会社

講義 「段ボール原紙・箱形式・特性・包装設計・包装貨物試験・製造 等」

レンゴー株式会社 包装技術第一部大阪包装技術第一課担当課長 上原 英明 氏

実習 (午前：個人作業 午後：グループ実習)

「寸法の算出・試作実習・試作品の圧縮試験および落下試験・講評と質疑応答」

アイロップ株式会社 包装技術部参事

吉木 宏 氏

アイロップ株式会社 包装技術部部長

脇田 明和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 会員フォーラム見学会

トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪 2月20日(火)

参加者 50 名

第2. 諸会議

1) 関西支部役員会 5月22日(月) ホテル日航大阪

出席者 21 名

1. 役員交代に関する件

2. 2022 年度事業報告ならびに会計報告に関する件

3. 2023 年度事業計画ならびに会計計画に関する件

4. その他

2) 関西支部運営委員会

①12月1日(金) 四ツ橋・近商ビル

出席者 14 名

1. 2023 年度事業報告および進捗状況に関する件

2. 2024 年度年間スケジュール(案)に関する件

3. その他

②3月8日(金) 四ツ橋・近商ビル

出席者 17 名

1. 2023 年度下期事業報告に関する件

2. 2024 年度事業計画に関する件

3. その他

3) 生活者包装研究懇談会実行委員会

①8月3日(木) イマイビル

出席者 7 名

1. 2023 年度の募集(再開)について

2. 2023 年度の例会について

②3月6日(水) イマイビル

出席者 7 名

1. 2023 年度の報告について

2. 2024 年度のプログラムについて

第3. 行事・その他の活動

- 1) 支部総会および交流会 5月22日(月) ホテル日航大阪 参加者 97名
1. 2022年度事業報告ならびに会計報告に関する件
2. 2023年度事業計画ならびに会計計画に関する件
3. その他
- 2) 第58期包装管理士講座(大阪会場)合格証書授与式・祝賀会 参加者 67名
- 10月27日(金) ハートンホテル北梅田
- 3) 新春会員交流会 1月19日(金) 大阪倶楽部 参加者 90名
- ◇年頭挨拶
- (公社)日本包装技術協会 関西支部長 大坪 清
- ◇記念講演会「心のしくみ」薬師寺 執事長 大谷 徹 氏
- ◇交流会

◎西日本支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及開発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第58期包装管理士講座(福岡会場募集枠)

1. 受講者・合格者

総受講数：27名 合格者：27名(内訳：生活者11名・輸送16名)

2. カリキュラム

①集合研修：日帰り(ロワジールホテル豊橋)

- ・生活者包装コース 5月31日(水)
- ・輸送包装コース 6月1日(木)

②オンライン講義

- ・統括教科 6月7日(水)
- ・材料教科 6月14日(水)～6月16日(金)
- ・専門教科
- ・輸送包装コース 6月27日(火)～6月30日(金)
- ・生活者包装コース 7月4日(火)～7月7日(金)

③オンライン筆記試験

- ・輸送包装コース／生活者包装コース 8月28日(月)

④合宿研修 ロワジールホテル豊橋

- ・ケーススタディ・面接試験
- ・生活者包装コース 9月6日(水)～9月8日(金)
- ・輸送包装コース 9月11日(月)～9月13日(水)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム 西日本支部主催

- ①11月17日(金) 参加者 246名
「カーボンフットプリント算定に関するセミナー」
三井物産株式会社 機器材料事業部 工学材料事業室 荒川 朋也 氏
- ②2月22日(木) 参加者 200名
「日本パッケージングコンテスト入賞作品事例発表会」 西日本支部・東北支部共催
発表①:「吸湿くん EX」
丸東産業株式会社 営業企画推進部 木下 聡史 氏
発表②:「糊貼りしないパッケージ」
富山スガキ株式会社 企画制作部 設計開発課 赤井 智昭 氏
発表③:「かみプチ」
川上産業株式会社 東京営業所 伊澤 洋一 氏
商品開発部 油井 雅光 氏
発表④:「らくらく施工アシスト付包装」
TOTO株式会社 衛陶設計部衛陶生産設計第二グループ 山下龍太郎 氏
発表⑤:「使用済みコピー用紙からつくった!高性能緩衝材」
セイコーエプソン株式会社 P 商業・産業企画設計部 大田 司 氏
発表⑥:「衝撃吸収機能を備えた人工大理石カウンター包装」
TOTO株式会社 トイレ空間商品開発部トイレ空間包装印刷物グループ 宮下 貴行 氏

(2) 輸送包装・生活者包装研究会

5月研究会 11月 JPI WEB フォーラム講演へ移行

(3) 特別講演会

2023年度定時総会報告 特別講演会 8月 西鉄イン福岡ホテル 【中止】

(4) 2023 包装事例研究発表会・交流会

- 11月2日(木) 西鉄イン福岡ホテル 参加者 29名
- ①「炒飯の素」用の SRP 段ボール箱の開発
株式会社久原本家食品 花田 晋也 氏
- ②環境とユーザービリティに配慮した得意先課題を解決する最適パッケージの実現
TOPPAN 株式会社 中島 啓介 氏
- ③口栓キャップの材質・形状変更による開栓性の改善
TOPPAN 株式会社 塩塚 貴士 氏
- ④軟包装フィルムの材料及び製造方法変更による液漏れ品の改善
丸東産業株式会社 岡 敬徳 氏
- ⑤デジタル印刷を活用した段ボール製ゆりかご
福岡パッケージ株式会社 川口 洋一 氏

(5) 2023 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

12 月開催予定から 2 月 22 日 (木) JPI WEB フォーラムへ移行

＜交流事業＞ (公益目的事業)

1) 見学会 (IPP 支部・福岡倉庫協会と共催)

来期に延期

第 2. 諸会議

1) 西日本支部運営委員会 (本部総会説明会・特別講演会時に開催)

第 1 回 8 月 西鉄イン福岡ホテル【中止】 個々に訪問した

第 3. 行事・その他の活動

1) 第 58 期包装管理士合格証書授与式・交流会

11 月 2 日 (木) 西鉄イン福岡ホテル

参加者 29 名

2) 官公庁、関連団体との協力連携活動

令和 5 年度第 1 回ふくおかプラスチック資源循環ネットワーク会議参加 8 月 4 日(金)